



ご挨拶される福井県警 齊藤被害者支援室長

平成 23 年度理事会・総会の開催

平成 23 年 6 月 4 日 (土) 午後 1 時より松原病院西棟 4 階会議室に於いて平成 23 年度の理事会が開催され、

- 1.平成 23 年度事業計画について
- 2.平成 23 年度予算について
- 3.創立 10 周年記念事業について
- 4.平成 24 年度以降の財源確保について

以上の協議が行われ、満場一致で採択されました。続いて午後 3 時より総会が開催され、以下の議案の審議が行われました。

- 1.第 1 号議案 平成 22 年度事業報告書
- 2.第 2 号議案 平成 22 年度決算報告書
- 3.第 3 号議案 平成 23 年度事業計画
- 4.第 3 号議案 平成 23 年度収支予算
- 5.その他の議案 被害者支援センター 設立 10 周年記念式典について

以上の議案が満場一致で承認されました。

収支計算書

平成 22/4/1~23/3/31 まで

平成 22 年度事業報告

単位：円

科 目	22 年度 予算額 (A)	22 年度 決算額 (B)	増減 (B - A)
I 一般正味財産の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
①受取り会費	2,300,000	1,842,000	-458,000
②受取補助金等	10,616,000	11,476,399	860,399
③受取寄付金	800,000	884,500	84,500
④雑収益	80,000	141,468	61,468
経常収益計	13,796,000	14,344,367	548,367
(2) 経常費用			
①事業費			
i 相談事業	3,361,850	2,796,303	-565,547
ii 直接支援事業	2,691,110	1,563,569	-1,127,541
iii 養成・育成事業	1,403,190	1,971,227	568,037
iv 広報・啓発事業	2,126,930	4,732,356	2,605,426
②管理費	4,212,920	2,732,082	-1,480,838
経常費用計	13,796,000	13,795,537	-463
当期経常増減額	0	548,830	548,830
2 経常外増減の部	0	0	0
当期			
一般正味財産増減額	0	548,830	548,830
一般正味財産期首残高	1,994,323	1,994,323	0
一般正味財産期末残高	1,994,323	2,543,153	548,830

ひとりで悩んでいませんか?

犯罪の被害に遭われた方に
総合的な支援を行います。



なやみ はやくに

0120-783-892



相談日 月曜～土曜 10:00～16:00

平成22年度事業報告

1. 電話・面接相談事業

毎週 月曜日～土曜日 10時～16時
 相談件数(22年度中) 合計192件
 電話相談 148件、面接相談 13件
 直接支援 26件、メール5件

2. 直接支援事業 26件

3. 広報・啓発事業

- ・会報「with you」発行(5月、8月、11月、2月)
- ・「犯罪被害者支援を考える集い」
 平成22年10月9日(土)
 福井県国際交流会館
- ・シンボルマーク決定
- ・県民公開講座の開催 年2回
 平成22年8月25日(水)
 響のホール 講師：武 りり子 氏
 平成22年12月10日(金)
 敦賀気比高等学校 講師：一井彩子 氏
- ・「命の大切さを学ぶ教室」
 県下の中学校、高等学校、大学で開催
- ・講演による広報(刑務所他各団体、各機関等)
- ・街頭キャンペーン 11月17日(水)
- ・ホームページによる情報発信 月1回の更新

4. ボランティア養成講座の開催

・嶺北会場		・嶺南会場	
22年 7月 8日	22年 7月 26日	22年 7月 26日	22年 7月 26日
22年 8月 12日	22年 8月 23日	22年 8月 23日	22年 8月 23日
22年 9月 9日	22年 9月 27日	22年 9月 27日	22年 9月 27日
22年 10月 14日	22年 10月 25日	22年 10月 25日	22年 10月 25日
22年 11月 11日	22年 11月 22日	22年 11月 22日	22年 11月 22日

5. 相談員の為の継続研修の開催

月1回(年12回)の開催

6. 臨床心理士による専門相談の開催

月1回(年12回)の開催

7. 自助グループの育成支援

月1回の例会の開催

8. 全国及びブロック研修会への参加

東海北陸ブロック研修(7/17.18・11/13.14)
 全国秋季フォーラム(9/30～10/3)
 コーディネーター研修会(1/31～2/4)
 全国自助グループ連絡会議(10/26)

9. 犯罪被害者等支援地域ネットワーク会議への参加

敦賀、福井、永平寺、坂井、坂井西、勝山
 小浜、大野の各地区で犯罪被害者支援の地域ネットワーク会議があり、当センターも参加し連携強化を図る。

平成22年度相談状況

平成22年度相談件数

月別計	4月	5月	6月	7月	8月	9月
件数	14	23	26	18	10	11
月別計	10月	11月	12月	1月	2月	3月
件数	9	15	23	13	8	22

平成22年度相談内容

相談状況							
内 容	男	女	合計	電話	面接	直接	メール
D V	0	6	6	6	0	0	0
虐待	0	8	8	6	1	1	0
強制わいせつ	0	0	0	0	0	0	0
強 姦	1	4	5	4	1	0	0
交通事故	25	21	46	35	1	10	0
財産被害	24	16	40	35	2	0	3
ストーカー	4	5	9	6	1	2	0
殺 人	0	15	15	9	0	6	0
暴行・傷害	1	9	10	7	1	2	0
その他	16	37	53	40	6	5	2
合計	71	121	192	148	13	26	5

※22年度事業報告の詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.fvsc.jp/>

—以上—



スタッフ募集のお知らせ



◆ 創立10周年記念事業を
平成23年11月13日午後1時より
葵会館にて開催いたします。

◆ 当支援センターでは、準備及び当日のスタッフを
募集しております。スタッフとしてお手伝いいた
できる方は、事務局までご連絡ください。

センターニュース

グリーンワーク講座～大切な人を亡くしたあなたへ～

6月18日(土)19日(日)に福井県国際交流会館第3会議室に於いて、ひょうご被害者支援センター 臨床心理士・支援コーディネーターの堀口節子氏を講師にお招きし、グリーンワーク講座を開催致しました。

18日は、県内外の家族を亡くされた方々やサポートする方々約40名が参加され、グリーンワークの基礎知識や、悲嘆から回復する方法、また支援するために重要なポイントなどを学びました。

19日は、13名の遺族の方が参加され、雑誌等を切り抜いてコラージュ作品を作るグループワークを行いました。



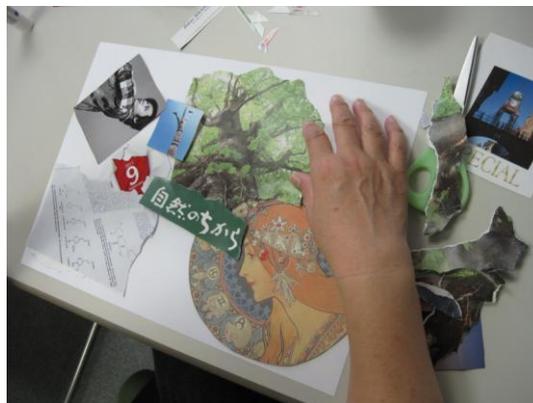
19日 会場の様子



コラージュ作品を制作中



18日 基礎講座の様子



切り取って貼っていく作業



JR福知山線脱線事故の遺族の心のケアの様子を話す堀口氏



こんな作品ができました

参加者(19日)のアンケートより

初日はどうなることかと不安でしたが、2日間受講することができよかったです。今日は一緒にグループワークした方々に力をいただきました。ありがとうございました。

皆それぞれに悲しみと苦しみをかかえ、時間をかけて整理していくのだと感じました。

ほんの少し自分を見れたような気がしました。

今回、初めてのグリーフワーク講座の開催でしたが、多数の受講希望があり、その反響の大きさに驚いた次第です。グリーフケアは遺族の心のケアにとって必要であるとともに、被害者遺族の心に寄り添うという支援をしていく上でも重要な手段のひとつだと感じました。



命の大切さを学ぶ教室

犯罪被害の深刻さや命の大切さについて理解を深めてもらうために、福井県警察本部及び学校と協働で「命の大切さを学ぶ教室」を下記の通り開催致しました。

- 5月20日 勝山市立勝山中部中学校
- 6月 1日 福井県立福井商業高等学校
- 6月 6日 小浜市立小浜第二中学校
- 6月 7日 福井市立成和中学校
- 6月22日 坂井市立三国中学校
- 6月30日 敦賀市立松陵中学校
- 7月 1日 大野市立陽明中学校
- 7月 6日 越前町立朝日中学校
- 7月 7日 あわら市立芦原中学校
- 7月12日 福井市立社中学校
- 7月13日 永平寺町立永平寺中学校
- 7月19日 越前市立南越中学校
- 7月20日 坂井市立丸岡南中学校



朝日中学校



社中学校



松陵中学校



南越中学校



講師 宮地美貴子



命の大切さを学ぶ教室

～生徒の感想文より抜粋～

今までにも命について学習したことはあったけれど、今回の学習は今までとは少し違っていました。「明日が来るのは当たり前なんかじゃない」という言葉が今でも心に残っています。普段は「これは明日やろう」と言ってるけれど、それができないかもしれないということがわかりました。被害に遭った人たちのことを考えて命を大切に、周りの人たちも悲しませないようにしたいなと思いました。

成和中学校 1年女子

私は人の死は他人事だと思っていました。でも今回の話を聞いて、やはり体験した人しかわからない思いや叫びがとても心に残りました。宮地さんの息子さんにはたくさん夢があったと思います。その夢をかなえる事ができなかった貴弘君を考えると、今生きている、そして夢をかなえる事のできる可能性のある私たちがかなえてあげるべきだと思います。無駄にしている命など一つもありません。それを考えながら毎日生活していきたいと思っています。

成和中学校 1年女子

命は大切なものだとわかっていたつもりだったけれど、今日の話聞いて、その考えが甘かったと感じました。命を失うということがどんなに悲しく辛いことか、死んだ人だけではなく、周りの人の希望までも奪ってしまうことがわかりました。自分の命を大切にするとともに、命の尊さについて深く考えさせられました。

小浜第二中学校 1年女子

いつ命が消えてしまうのか分からないし、私や私の家族、まわりの人ももしかしたら明日いなくなるかもしれないと思いました。失ってもいい命なんてないと思うし、亡くなったらきっと悲しむ人がいるから、自殺した人や、死にたいと思っている人に、今日話を聞いて感じたことを伝えたいと思いました。

小浜第二中学校 2年女子

突然、命はもちろん夢や希望、すべてをたたくてしまうということは想像することさえできません。命というものはかけがえのないものなのに、若いうちにその命をおとってしまうなんてとてもかわいそうです。尊い命を亡くした子供たちがメッセンジャーとなって等身大の人形のようなものになっていましたが、自分より背の低いものもあって、心を打たれました。東日本大震災でも多くの命が失われてしまいました。自分にできる事は何か。よく考えて自分だけではなくみんなの命を大事にしたいです。

三国中学校 1年男子

「死」はいつ訪れるかわからないということを改めて認識させられました。脳死となっても体は生きていますので、家族の人の立場だったら絶対にあきらめられないと思いました。そして被害者の家族はいつまでも被害者の死と向き合っていかなければならないと知り、本当に辛いと思いました。私は周りの命も自分の命も大切にして、命について深く考えていきたいと思いました。

福井商業高校 1年女子

一人の命がなくなることで、多くの人生が狂ったりしてしまうことがわかりました。宮地さんが話したように、自分の命を大切にして、他の人の命も大切にしていきたいと思いました。宮地さんは自分の息子を亡くして辛いのに、その話をしてくれたのは、被害者の気持ちを多くの人に理解してもらいたいからだと思いました。被害者の気持ちがものすごく分かって、命を一番に大切にしていきたいと思いました。

福井商業高校 1年女子

宮地さんのお話を聞いて、一人ひとりの命の大切さを知りました。生きたくても生きられなかった人もいるから、命を粗末にすることはいけないということが心に響きました。なので私も命を大切にしたいと思います。でも人間はいつか死を迎えるので、それまで精いっぱい貴弘君の分まで生きてみたいです。

勝山中部中学校 1年女子

私は身の周りの人がいきなりいなくなったりすることは今までなかったけど、そのような事を想像するととても悲しくなりました。宮地さんのような人は他にもたくさんいると思うので、その人達に「かわいそう」と思うのではなく、自分がその人達を支える人になって今まで以上に接してあげたいです。そして、これからも、人の命、自分の命、たくさんの命を大切に守っていききたいです。

勝山中部中学校 3年女子

去年の1月に死んでしまった私の祖母と姿を重ねてしまい、とても悲しくなりました。「〇〇してあげたかった」という気持ちはどの人も同じなんだと思いました。どれだけくじけそうになっても相手を思い、想いを引き継いで今を精一杯生きていくことが大切ということ学びました。明日を迎えられることは幸せなんですね。

勝山中部中学校 3年女子

命はすごく大切だということが、たったの50分間でしたが、すごくわかりました。ぼくには兄がいます。ケンカばかりして、腹をたててすぐに「お前なんか死んでしまえ」と言っていました。そんなことを言った自分を、すごく後悔しました。これからは命の大切さを頭につめて、ぼくに命をくれたことを感謝して過ごします。

三国中学校 1年男子



平成23年度 第1回 県民公開講座



7月16日 仁愛女子高等学校に於いて犯罪被害者支援講演会が開催されました。「命の大切さを考える」という演題で、1995年に集団暴行にてご子息を亡くされた一井彩子氏が講演されました。被害者にも加害者にもならないでほしいという一井氏の訴えに、生徒約1,150名が耳を傾けていました。

生徒の感想文より抜粋

今回「命の大切さ」についての講演を聞いて、現在でも身近にたくさんの凶悪事件が起こっていて、その被害者の遺族が負う心の傷の深さについて改めて知ることができました。これからは加害者にも被害者にもならないために、またそのような人たちが少しでも減るように身近な事から気を付けていきたいです。

私の学校では宗教という授業があり、その中で命の重さや尊さを学ぶのですが、今日の講演を聞くまで自分では命について分かったつもりでいましたが、亡くなった人だけではなく、家族の深い悲しみを知ることができました。一日一日を家族や友人に感謝しながら生きていきます。



発行日
2011年8月10日
発行者

福井県公安委員会指定犯罪被害者等早期援助団体
公益社団法人 福井被害者支援センター
〒910-0017 福井市文京2丁目13-5 辻ビル3階
事務局 TEL 0776-88-0801 FAX 776-88-0820
ホームページ <http://www.fvsc.jp/>
eメール info@fvsc.jp



民間功労者表彰



7月19日 福井刑務所に於いて民間功労者表彰式が行われ、当センターは約4年にわたり受刑者へ「被害者の視点を取り入れた教育」ということで「命の大切さの認識」等の講義を行ってきたことへの感謝状をいただきました。

県民による県民のための被害者支援講座

被害者の方のご家族、友人、ご近所など身近な方が一番の支援者と言われています。

あなたもできる被害者支援をご一緒に学んでみませんか？

- 日時 9月10日(土)・11日(日)
午前10時～午後4時
- 会場 敦賀市男女参画センター3階(敦賀市三島町2-1-6)
- お問い合わせ・お申し込み
福井被害者支援センター事務局

被害者支援講座 初級編

ボランティア相談員を希望される方

参加費
無料

- 日時 10月8日(土)・9日(日)
午前10時～午後4時
- 会場 敦賀市男女参画センター3階(敦賀市三島町2-1-6)
- お問い合わせ・お申し込み
福井被害者支援センター事務局

編集後記

今回は福井県内の中学・高校13校を回って「命の大切さを学ぶ教室」でお話をさせていただきました。子供たちに向けて話をするのは初めてで不安もありましたが、みなさん真剣な表情で聞く姿を見て、また感想文では一人ひとりがちゃんと自分の命について向き合ってくれたことがわかり、大変嬉しく思いました。(宮地)